

奔流成瀬

平成21年1月26日 第3号

成瀬ダムをストップさせる会 事務局ニュース

発行責任者 奥州 光吉

事務局 ☎0182-42-2311(熊沢) Fax0182-45-4870

[成瀬ダムをストップさせる会] に

「自然保護団体」や「労働組合」も 支援・協力を！！

秋田市や男鹿市、由利本荘市、能代市、大館市などの自然保護団体や、教職員やJRの労働組合などに出向いて協力や支援をお願いに回っています。「JR東労組」など 快く支援・協力を約束してくれました。私達の「貴重な自然を守る」「税金の無駄遣いは止めよう」という訴えは、じわじわと拡大しています。自信と勇気をもって邁進しましょう。

税金は今必要な 活きた使い方をしよう！！

国土交通省直轄工事の成瀬ダムで 総工費は1,530億円です。そのうち秋田県としての負担は約17% 260億円で計画されています。国のお金であっても県のお金であっても、元はと言えば 私たちが血の滲む思いで納めた、毎月の少ない賃金から否応無しに天引きされた税金です。創刊号から言い続けていますが、多目的のどれをとっても 現代的には必要性を認めることの出来ないダムに、県民の貴重な財産である、かけがえの無い自然を大規模に破壊し、これだけの巨額の税金を使うことは誰が考えてもおかしいのです。

もしこれだけの税金を使うのであれば、今 緊急に求められている「雇用対策・地域医療・学校の耐震補強・高齢者介護・サバイバル状態に陥っている農林業・・・」今 秋田県民が抱える緊急の課題が山ほどあります。このままですと明日の県民の生活が脅かされます。

秋田県の財政は そんなに潤沢なのでしょうか？

過去に大館の「長木川ダム」、仙北の「真木ダム」の建設をやめています。秋田県は財政が苦しく、全国に先がけて 所謂「森林環境税」を新設し県民から徴収しています。さらに流れてしまいましたが「子育て税」なるものまで検討されたのです。秋田県にはお金はありません。このままダムを作ったら、みな借金です。子や孫にまで及ぶ借金をこれ以上負うのは御免です。

計画された予算どおり完成したダムは一つもありません。

昭和28年に秋田県が作った「森吉ダム」の10キロメートル下流に建設中の【森吉山ダム】は当初 910 億円で計画されました。工事事務所によりますと、おおよそダム本体の工事は出来上がり来年1月から試験的に貯水を始め、問題がなければ 平成23年4月に、1,750 億円で完成の見込みです。計画された予算の約2倍です。秋田県の負担も約2倍に増え 頭の痛いダムです。

実はダム建設関係者の間では「小さく産んで、大きく育てる」と言われていますし、これがダム建設の実態です。奈良県には計画の16倍という大滝ダムが存在します。建設中止で話題になっている熊本県の「川辺川ダム」は本体工事に入っていませんが、既に計画の9.4倍のお金がかかっています。必要性の無くなったダムにこれだけの巨額な税金を使うことは許されません。

税金は 今必要な 活きた使い方をしなければなりません。

私たちが ゆとりを持って 喜んで働き、安心して暮らし、

子や孫に自信を持って引き継げる世の中に ！

ブナやどんぐりの木を沢山植え、林や森のダムをつくりましょう。



「森吉ダム」(県営事業昭和 28 年完成)の 10 km 下流に作られている「森吉山ダム」当初計画 910 億円 現在の完成(平成 23 年 4 月)見積もり 1,750 億円(森吉山ダム工事事務所の説明) 平成 21 年 1 月 24 日事務局撮影



今後の行動予定

- 9 日 第 5 回世話人会
- 1 3 日 県監査委員会に監査請求提出 秋田県庁で記者会見
- 2 2 日 増田町多目的研修センター 総決起集会 13:30~
- 3 月 1 日 秋田中央 総決起集会 (未定)
- 1 5 日 追加請求 最終期限